



J Aレーク伊吹 経済部 営農企画課  
TEL 0749-63-2101 FAX 0749-64-2085

## 今月の話題

- ◆ 水管理と中干しに向けて
- ◆ 中・後期水稻除草剤の紹介
- ◆ 農業用廃プラスチック類回収のご案内
- ◆ 農地中間管理事業のご案内
- ◆ J Aバンク滋賀 農業融資応援プラン
- ◆ 農政ダイジェスト

農家所得増大  
"コシヒカリプレミアム88"  
チャレンジ!



### 要件

- みずかがみ（全農基準）・コシヒカリ・特別栽培米コシヒカリで個袋及びフレコンにて出荷した検査等級が1等の米
- J A自主分析で、整粒80%以上・食味値80点以上の米

### メモ

- ✓ 農業生産工程管理(GAP)5月末提出  
JA出荷される方は、ご準備を...



5月6日伊吹・柏原・山東地域の3地点（甲賀・大野木・本郷）において、生育調査を実施しました。今後生育状況を営農情報誌などでお伝えいたします。



# 水管理と中干しに向けて

【水管理のイメージ】



時期	水管理	効果
植付～活着まで	やや深水	<ul style="list-style-type: none"> <li>活着促進</li> <li>植え痛み防止</li> </ul>
活着後	浅水	<ul style="list-style-type: none"> <li>分げつ促進 (昼夜の水温較差が大きいほど分げつ促進)</li> </ul>

## 移植後から活着期

移植後から幼穂形成期の水管理は、「保温効果」、「雑草の抑制」、「養水分の供給」などの生育・収量や品質に影響を与える重要な役割があります。水稻の生長点が土壤中にあり、「地温」と「水温」から影響を受けやすいので、生育初期は細やかな水管理が必要です。

地温を上昇させるための理想的なかん水方法は夕方水を入れ夜間深水、昼間浅水です。できない場合は、夜間または早朝にかん水し、昼間のかん水は避けましょう。長時間かん水は水温の上昇が妨げられ生育を遅らせることになります。

## 水田の藻対策

活着後は、浅水管理で藻の発生を抑制しましょう。



- 発生原因**
- 地温が高い（土中の有機物や窒素、リンが多い場合に多発）
  - 水温が生育に適している（25℃が増殖ピーク）
  - 日射量が多い（光合成が増加）

### 対策

- 中干しを行い、軽く田面を干す（必要分げつ数が確保できていない場合は2・3日おきに湛水と落水を繰り返す間断かん水を実施）
- モゲトン3kg/10aを散布 ※環境こだわりに使用できません



## 還元障害（やみ田）と対策

モゲトン3kg粒剤  
2,508円(税込)



作物残渣や雑草などが十分に分解されないまま田植えをすると、土中で分解が始まりガスが発生し生育が抑制されます。

### 軽い症状

- 下葉が黄色くなります。
- 分げつが遅くなります。
- 色が出ません。

### 重い症状

- 全く分げつしません。
- 下葉に赤い斑点があります。
- 根張りが悪くなります。

### 対策

- 軽く干します。（5日程度で色が出ます。）
- 干しても回復がみられない場合は、硫酸マグネシウムやマルチサポート2号を10a当たり20kg施用します。

### 対策

- 溝切り(こじわり)を行い、数日間落水して、田面を干します。
- 硫酸マグネシウムやマルチサポート2号を10a当たり20kg施用します。



マルチサポート2号  
1,584円(税込)

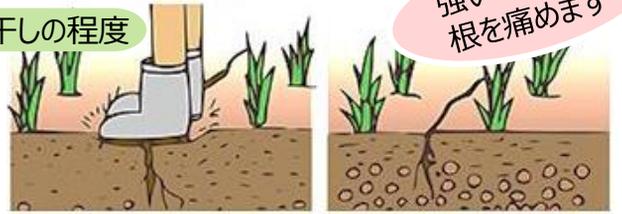
品質向上のため過剰分けつにならないよう生育を確認し、適期に中干しを行いましょう。

中干し時期

【コシカリのめやす】

栽植密度 (/坪)	50株	60株	70株
1株当たりの茎数	20本	17本	14本

中干しの程度



半湿田では足がしずむ程度 乾田では弱いヒビが入る程度

中・後期水稲除草剤の紹介

初中期一発剤の散布15日後には場の雑草有無を確認しましょう。一発処理剤のみで、雑草の取り残しの問題がある水田は、体系処理をおすすめします。

初期剤・初期一発剤



- 中期剤 セカンドショットSジャンボ
- 中期剤 サンパンチ1キロ粒剤
- 中期剤 アトトリ1キロ粒剤・豆つぶ250

体系処理の効果

・薬剤効果期間が延びること、雑草の取りこぼしを軽減します。

初中期一発剤



発生に応じて

- 後期剤 バサグラン粒剤・液剤
- 後期剤 クリンチャーバスME液剤

中・後期水稲除草剤

用途	除草剤名	10a 使用量	成分 数	使用時期
広葉・ヒコ	セカンドショットSジャンボMX	500g	3	移植後14日～ビエ3.5葉期但し、収穫45日前まで
広葉・ヒコ	サンパンチ1kg粒剤	1kg	4	移植後15日～ビエ3.5葉期但し、収穫60日前まで
広葉・ヒコ	アトトリ1kg粒剤	1kg	1	移植後20日(稲5葉期以降)～ビエ4葉期但し、収穫45日前まで
広葉・ヒコ	アトトリ豆つぶ250	250g	1	移植後20日(稲5葉期以降)～ビエ4葉期但し、収穫45日前まで
広葉・ヒコ	クリンチャーバスME液剤	1000ml	2	移植後15日～ビエ5葉期但し、収穫50日前まで
広葉	バサグラン粒剤	3kg	1	移植後15日～55日但し、収穫60日前まで
広葉	バサグラン液剤	500ml	1	移植後15日～55日但し、収穫50日前まで
ヒコ	ヒエグリーン1kg粒剤	1kg	1	移植後15日～ビエ4葉期但し、収穫45日前まで
ヒコ	ヒエグリーン豆つぶ250	250g	1	移植後15日～ビエ4葉期但し、収穫45日前まで

農業用廃プラスチック類回収のご案内

日時	場所
令和3年5月29(土) 9:00～11:30	JALレーク伊吹 伊吹カントリーエレベーター 神照カントリーエレベーター
令和3年6月5日(土) 9:00～11:30	JALレーク伊吹 近江カントリーエレベーター 長浜カントリーエレベーター

農業から出るプラスチック類が対象です。

- 農ポリ ●育苗箱 ●畦畔シート ●肥料袋 など



# 農地中間管理事業のご案内

現在、受付中です

前期 令和3年6月30日（水）まで

	受付期間	有効期限
<b>農地を貸したい方</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 契約期間終了後、農地は確実に戻ります。</li> <li>● 機構で貸付いた農地は固定資産税が軽減される場合があります。</li> <li>● 賃料は機構からの口座振込による支払。等々</li> </ul>	前期 4月1日～6月30日 後期 8月2日～10月29日	令和4年3月末
<b>農地を借りたい方</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 農地をまとまりのある形で借入る事が可能</li> <li>● 農地を長期（10年以上）に借入でき、効率的、安定的な農業経営ができます。</li> <li>● 賃料の支払事務が軽減できます。</li> </ul>	通年(随時)	受付した2年後の年度末 ※

## JAバンク滋賀 農業融資応援プラン

農業融資のこと、農業経営のことは、JAにご相談ください

### お使いみち

- ・農産物の生産、加工、流通、販売に関する運転資金や設備資金（他の金融機関等も借入金にかかる借換え資金を含む）
- ・再生可能エネルギー利用の取組を支援するための発電、蓄電設備取得資金
- ・農業の成長、安定に向けた各種交付金交付までのつなぎ運転資金（JA交付金等つなぎ資金）
- ・自然災害等による農業経営の一時的な悪化に対応するため、農業経営の維持や再開を目的とした緊急性を要する資金（災害緊急資金）

### 応援

#### その①

軽減後金利1.2%!  
基準金利最大年2.175%を軽減し1.2%に!

### 応援

#### その②

最大年1%、最長5年間のJAバンク利子補給!

### 応援

#### その③

保証料全額助成!  
（滋賀県農業信用基金協会保証・前払一括払い）  
年0.195%を実質保証料負担なしに!

**0.2%**  
最大軽減・補給後の定期用金利  
（固定金利型）

### ひと月の動き

## 農政ダイジェスト

農業・地域の雑誌「地上」より抜粋  
～定価（税込）618円 購読申込受付中～

### 特Aが50銘柄を超える高水準

日本穀物検定協会（東京都）が、2020年産米の食味ランキングを公表した。50回目となる今回対象となったのは、44道府県の154産地銘柄。最高位の「特A」に位置付けられたのは53銘柄で、3年連続で50を超えた。近年は出品数も増加傾向にある。

### パックご飯事業にJA全農が参入

JA全農は、パックご飯製造を手がける（株）JA加美よつばラドファ（宮城県）の株式を約7割取得し、子会社化すると発表した。これまでメーカーへの外部委託製造や原料米の供給が中心だったJA全農だが、本格的にパックご飯事業に参入するかたちだ。新工場を建設し、各地の銘柄米を使用した商品開発を進めていく。

### 政府備蓄米が全量落札

主食用米の需要緩和を受け、初回から活発だった21年産の政府備蓄米の入札。農林水産省は、25日に実施した第4回の入札結果を、提示数量198tすべてが落札され、年間買い入れ予定数量の20万7000tに達したと発表した。

### 持続可能な食料システムの構築に向けて

中長期的な政策方針「みどりの食料システム戦略」の中間取りまとめを農水省が決定した。政府が掲げる「脱炭素社会」目標を踏まえ、食料・農林水産業における生産力の向上と持続性の両立をめざすもの。50年までに化学農薬の使用量を半減するなど、数値目標を明記した。戦略は5月に策定される予定。